

◎ 江戸幕府の将軍について、下の文をもとに問いに答えましょう。

【A】 豊臣秀吉の命によって関東を領地にすると、本拠地として(①)の町を整備した。1600年に、(②)の戦いで対立する石田三成らを破った。1603年に朝廷から(③)に任じられ、(①)に幕府を開いた。
 将軍職は早々に子の(④)に譲ったが、自身は大御所として引き続き大きな権力を持ち続け、1615年に「(⑤)の陣」で豊臣氏をほろぼした。
 死後は「日光(⑥)宮等」にまつられた。

【B】 (④)の子で、三代目将軍として幕府の仕組みや、大名を取り締まる決まりを整備するなど、幕府による支配体制を固めた。

(1) 【A】【B】の文はそれぞれある将軍のことを述べている。適切な人物名を答えましょう。

(2) A・Bの文の①～⑥に当てはまる言葉を答えましょう。

解答欄

(1)	【A】	【B】

(2)	①	②	③
	④	⑤	⑥

歴史2 第1章 近世の日本 (2) 江戸幕府の成立と対外政策②

組 番 名前

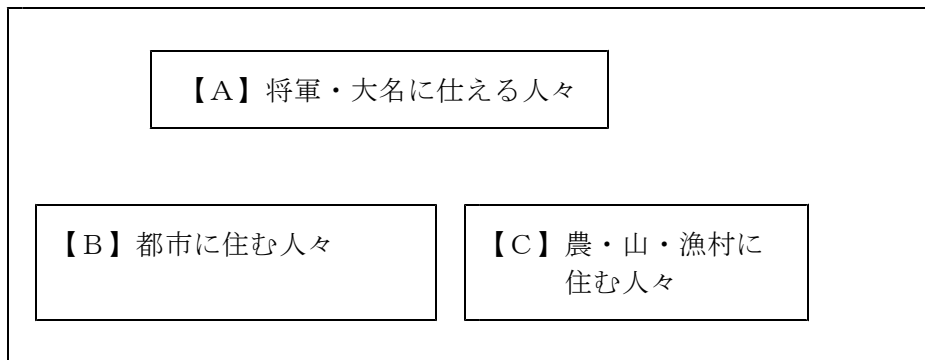
◎ 江戸幕府の政策について、次の問いに答えましょう。

(1) 幕府が出した「大名を取り締まる決まり」について答えましょう。

① 1615年に発せられた、この決まりの名前を答えましょう。

② その決まりの中では、各大名は自身の領地と江戸の間を定期的に行き来することが定められていました。この制度のことを何とよぶか答えましょう。

(2) 江戸時代の身分制度について、下の図をもとに問いに答えましょう。



① 上の図の【A】～【C】の身分名を答えましょう。

② 【A】～【C】のうち、一番人口が多いものを記号で答えましょう。

(3) 幕府の宗教政策・外交政策について、次の問いに答えましょう。

① 幕府が禁止した外国由来の宗教名を答えましょう。

② 外国との交易を、幕府が制限した政策を一般的に何とよぶか漢字2字で答えましょう。

解答欄

(1)	①	②

(2)	①			②
	A	B	C	

(3)	①	②

◎ 江戸幕府が行った大名政策に関して、下の【A】～【C】の文をもとに問いに答えましょう。

【A】幕府の直接の領地と、将軍の直接の家臣である旗本や御家人の領地を合わせると、全体のおよそ (①) 分の一の石高になった。さらに重要な都市や鉱山を支配し、貨幣づくりの権利も幕府が独占した。1615年に幕府は a 大名に対して法を定めて統制し、取りつぶしや領地替えなども盛んに行った。b 江戸を中心とする道である街道を整備し、要地には (②) を設置した。

【B】江戸時代、将軍から (③) 万石以上の領地を与えられた者を大名といい、c 将軍家との昔からの関わり度合いにより3区分されていた。また、各大名の領地とその政治組織を (④) といい、幕府と (④) による全国支配の仕組みを、「(⑤) 体制」という。

【C】将軍は、基本的には代々 (⑥) 氏の本家の中から選ばれ、その中に継ぐ者がいない場合は、本家に近い一族の中から選ばれる仕組みになっていた。

- (1) 各文中の (①) ～ (⑥) に当てはまる語句を答えましょう。
- (2) 下線 a の法には「大名が許可なく城を修理すること」「大名同士が幕府に無断で婚姻すること」「500石積以上の大きな船をつくること」などを禁止していました。その法の名を答えましょう。
- (3) (2) の法と同様に、幕府は天皇や公家に対しても法を定め、行動等を制限しました。その法の名を答えましょう。
- (4) 下線 b の、特に重要とされた五街道のうちから、街道名を1つ答えましょう。
- (5) ①下線 c は親藩、譜代、外様と区別されましたが、それぞれについて簡潔に説明しましょう。
②幕府が行った大名の配置についての工夫を簡潔に説明しましょう。

歴史2 第1章 近世の日本 (2) 江戸幕府の成立と対外政策③

解答欄

(1)	①	②	③	④	⑤	⑥

(2)	
-----	--

(3)	(4)

(5) ①	大名の区分	特徴
	親藩	
	譜代	
	外様	
②	配置の工夫について	

◎ 幕府の庶民に対する支配政策や村の自治に関して、下の文をもとに問いに答えましょう。

農村に住む百姓は、土地を持つ(①)と土地を持たない(②)に分けられる。そして(①)の中から村の代表である(③)や組頭、百姓代などが選ばれ、それら村役人が中心となって村を運営した。百姓の生活には幕府による様々な決まりごとがあり、主なものとしては、毎年村の収穫物を(④)として納めていた。また、(④)の納入や犯罪を防ぐために連帯責任を負わせる(⑤)という制度がありました。

(1) 文中の①～⑥に当てはまる言葉を答えましょう。

(2) (④)に関して、四公六民という言葉が使われます。

この場合、収穫物の何%を領主に納めますか。

解答欄

(1)	①	②	③
	④	⑤	

(2)	%
-----	---

◎ 幕府が行った対外政策や宗教政策などに関して、下の文をもとに問いに答えましょう。

【A】幕府は当初、大名や商人に（ ① ）という許可状を与え、東南アジアの国々との貿易を推進した。そのため多くの日本人が海外に渡り、東南アジア各地には「（ ② ）町」ができた。また、ヨーロッパの国々との貿易についても、それまでの相手国であるスペインやポルトガルばかりでなく、新たに（ ③ ）や（ ④ ）との貿易も始まった。

【B】幕府は（ ⑤ ）教の布教を当初は黙認していたが、1612年に禁教令を出した後は、信者を含め厳しく取り締り迫害した。1637年に（ ⑤ ）教徒による反乱「（ ⑥ ）」が起きたが幕府はこれを鎮めた後、1639年以降は、明（今の中国）と（ ③ ）の2カ国のみ、九州の（ ⑦ ）に限って貿易を許した。これ以降、外交や貿易、外国の情報などは幕府が独占した。また、幕府は（ ⑤ ）教の信者を発見するためにイエスやその母であるマリアの像を踏ませる（ ⑧ ）を行ったり、仏教の信者であることを寺に証明させる（ ⑨ ）を行った。

【C】豊臣秀吉が行った出兵のために途絶えていた（ ⑩ ）との交流が、江戸時代になり復活した。将軍が代わるごとに（ ⑪ ）という使節が来るようになり、貿易も行われた。

(1) (①) ~ (⑪) に当てはまる語句を答えましょう。

(2) (⑦) の港につくられ、貿易が行われた人工島の名前を漢字2字で答えましょう。

(3) (③) が、ヨーロッパで唯一貿易を許された国だった理由を説明しましょう。

ヒント 布教 積極

(4) 迫害を受けても (⑤) の宗教を隠れて信仰し続けた信者を何というか答えましょう。

解答欄

(1)	①	②	③	④
	⑤	⑥	⑦	⑧
	⑨	⑩	⑪	

(2)	(3)

(4)	
-----	--

歴史2 第1章 近世の日本 (2) 江戸幕府の成立と対外政策⑥

組 番 名前

- ◎ 現代の沖縄県と北海道について、江戸時代の状況を述べた下の文章を参考に、①～⑥に当てはまる言葉を答えましょう。

日本が室町時代の頃、現在の沖縄県には (①) 王国があり、他国との交易により発展した。(①) 王国は江戸時代の初めに (②) 藩に征服されたが、同時に中国の王朝である (③)、そして (③) を倒した清にも朝貢を行っていた。

同じころ、現在の北海道は (④) と呼ばれ、(⑤) 民族が住み、日本人だけでなく、千島列島や樺太、中国大陸の人々とも交易をしていた。日本との交易においては松前藩が (⑤) との交渉を独占したが、次第に (⑤) の人々にとって不利な交易を行うようになった。それに対し、(⑤) の人々は度々反抗した。特に、1669年にはシャクシャインが中心となって大きな戦いが起きたが鎮められ、これ以降日本による支配をさらに強く受けるようになっていった。

解答欄

①	②	③

④	⑤

歴史2 第1章 近世の日本 (2) 江戸幕府の成立と対外政策

<①>

- 【解答】(1) A 徳川家康 B 徳川家光
(2) ① 江戸 ② 関ヶ原 ③ 征夷大將軍 ④ 徳川秀忠
⑤ 大阪(「大坂」「大阪夏」でも可) ⑥ 東照

【解説】○ 江戸幕府の基礎をつくった人物についての基本問題です。江戸幕府は、初代将軍家康～3代将軍家光の時期に、その支配体制を固めました。

<②>

- 【解答】(1) ①武家諸法度 ②参勤交代
(2) ①A 武士 B 町人 C 百姓 ②C
(3) ①キリスト教 ②鎖国

【解説】○ 江戸幕府の政策についての基本問題です。ここでは大名、一般の人々、宗教に対する政策を取り上げています。各方面に対する支配を幅広く行っていることをつかむことが大切です。

<③>

- 【解答】(1) ① 四 ② 関所 ③ 一 ④ 藩 ⑤ 幕藩 ⑥ 徳川
(2) 武家諸法度
(3) 禁中並びに公家諸法度
(4) 東海道, 中山道, 甲州街道, 奥州街道, 日光街道 の中から1つ
(5) ①親藩 徳川家の一族
譜代 古くからの徳川家の家臣
外様 関ヶ原のころから徳川家に従った大名
②江戸の近くや重要地には親藩及び譜代を配置し, 遠隔地に外様を配置した。

【解説】○ 江戸幕府の支配政策は、大名や天皇・公家、一般の人々、宗教勢力、外国といった、幕府を脅かす可能性のある様々な存在に対して行われ、幕府支配を二重三重に固めるものでした。それが、江戸時代が260年以上も続いた大きな要因であり、その間は国を分けるような大きな社会の乱れがない「平和な時代」が続きました。

<④>

- 【解答】(1) ① 本百姓 ② 水のみ百姓 ③ 庄屋(名主)
④ 年貢 ⑤ 五人組
(2) 40%

<⑤>

- 【解答】(1) ① 朱印状 ② 日本 ③ オランダ ④ イギリス
⑤ キリスト ⑥ 島原・天草一揆 ⑦ 長崎 ⑧ 絵踏
⑨ 宗門改め ⑩ 朝鮮 ⑪ 朝鮮通信使
(2) 出島
(3) キリスト教を積極的に布教しないことを約束したから
(4) 隠れキリシタン

<⑥>

- 【解答】① 琉球 ② 薩摩 ③ 明
④ 蝦夷地 ⑤ アイヌ

<⑦>

【解答例】○ キリスト教の神への信仰を重んじる教えは、幕府が行った身分制度や強い権力の構造による支配政策を否定する考え方につながり、キリスト教が広まると幕府に対する批判が強まる危険性があるから。(90字)

【解説】○ 幕府の支配政策の意図や意味に関して、説明する問題です。

- ・ここでは、キリスト教の禁止を取り上げました。「禁止」ということは、「幕府にとって都合が悪い」ということですから、その理由を考えればよいわけです。そうすると、キリスト教の教えと幕府がつくろうとしている社会との矛盾が理解できます。
- ・ポイントは、キリスト教の教えがどのようなものか、幕府のどんな政策との間で問題があるか、キリスト教を禁止しないとどうなる(危険性がある)か、の3点になります。

<⑧>

【解答例】○ 室町時代は、幕府の支配力の強弱が社会の安定や動乱と密接に関連した。特に応仁の乱以降の戦国期は幕府の力が弱く、日本は戦乱の時代が続いた。江戸幕府は大名や天皇など、幕府を脅かす可能性のある各方面に向けた支配政策を厳しく実行し、社会の隅々にまで行き渡らせた。この強い支配による統一政権が続いたことで、社会が安定し、大きな戦乱のない時期が長く続いた。(172字)

【解説】○ 江戸時代が長く続いたのは、幕府の支配政策が十分に社会に行き渡っていた時期が長く続き、大きな変革が起きなかったということです。つまり、幕府の支配力の強さによる社会の安定が、江戸幕府の大きな特色になります。これは、室町時代と比較すると、一層はつきりします。室町時代を前・中・後の3期に分けると、その前期は南北朝の対立、後期は群雄割拠の戦国時代と、幕府の支配力の強さと社会の安定度が連動します。

- ・ポイントは、「幕府の支配力」と「社会の安定」のかかわりの視点から、室町時代と江戸時代それぞれの特色を比較することです。